

札沼線一部廃止、コロナ禍で休業 当別の秘湯

常連客に愛されてきた「ふくろふ乃湯」。内湯はそのままに、露天風呂は足湯となり再開される予定＝2016年



【当別】観光開発などを行う「北海道アグリ&リゾート」（札幌）が、休業中の日帰り温泉「ふくろふ乃湯」の再開準備を進めていることが分かった。4月下旬の営業再開を予定し、施設の近接地にキャンプ場を新たに整備する。同社は「地域活性化のためにさまざまな取り組みを実行したい」としている。（菊池圭祐）

キャンプ場新設、スイーツ販売

ふくろふ乃湯は2009年の開業で、植物性のモール泉の源泉掛け流し
が特徴。個人が経営していたが、最寄り駅の旧石狩金沢駅が昨年のJR札沼線の一部区間廃止に伴ってなくなり、
新型コロナウイルスの影響もあって無期限休業としていた。
同社によると、昨年12月に温泉施設の所有者と賃貸借契約を結び、施設名を「北海道ふくろふ乃湯リゾート」に決めた。再開するにあたり、浴場の露天風呂部分は「足湯パーク」に改修。近接地約3750平方メートルに「フリーテントサイト」（40張）や「オートキャンプサイト」（19張）などを整備する。事業費は3千万円規模という。
三幸学園札幌スイーツ&カフェ専門学校などとスイーツのレシピを開発して敷地内の建物で販売する。同札幌ブランド・ホテル観光専門学校と、当別全体の観光開発をする準備も進んでいるという。
同社は「新型コロナで人の活動が停滞する中でもキャンプ需要はある。素晴らしい温泉と組み合わせ、多くの人が滞在できるようにしたい」としている。

ふくろふ乃湯 来月復活